17地区での自由枠交付金の使い方などを紹介!!

域で生きる

Part 2

山手地域づくり協議会

●自由枠交付金制度の活用について

山手は、平成18年4月から自治会をはじめ、各 種団体や住民が参画し、地域づくり協議会を設立し ていたため、スムーズに自由枠交付金制度を始め ることができました。地域でできることは地域で行 い、それぞれの事業を地域全体で団結し取り組む ことで、地域力向上に努めていきたいと思います。

●今後の課題

現在山手地区は、人口が増加しています。そのな かで、この制度を充実させるためには、全ての住民 が地域に関心をもつことが大切です。特色のある さまざまな活動を通して、地域の人と接する機会を 増やし、また地域全体で未来に輝く子どもを育て ることができる環境を創っていきたいと思います。

山手地域づくり協議会会長 兼総社市自由枠交付金地域づくり 協議会連合会副会長

髙谷 義行さん

「地域に活力があって住み よいところ」を目指します。 そして、現状を踏まえながら、 地域のつながりを大切にした 活動を進めていきます。





日本有数の豪雪地帯である、新潟県十日町市を訪れた山手小学校 の児童。子どもにとって大切な思い出となっている

主な活動内容

部会名等	活動内容等
体育部会	スポーツ大会
生活環境部会	雑がみ回収、青色防犯パトロール隊
防災部会	各自治会に緊急連絡網の設定
観光部会	観月会、きびじ大鍋
広報部会	広報紙発行
道路水路を守る会	土木担当員の活動
4つの実行委員会	・夏祭りやまて・十日町市・やまて友好交流事業・そうじゃ吉備路ウオーキング大会・健康福祉フェア



明はLEDが使用さ れている (写真左) 全てのドアが自動ド アとなった正面玄関



に改作正面を た。 関 に 、快適な 事

れる開放的な雰囲気の空

てい

皆さん応援ありがとうございました

新行で至回そうじかのキャラクター「行ュッピー」

インターネットによる投票でグランプリを競う「ゆるキャ ラグランプリ 2015」に、子育て王国そうじゃのマスコット キャラクター「チュッピー」が、昨年もエントリー。

8月から11月にかけて全国に総社市を発信!で当地キャ ラ部門にエントリーした 1092 体のうち、全国第 12 位の快 挙を成し遂げました。

投票してくださった皆さん、ありがとうございました。

投票結果

▶ご当地キャラ部門 12位(1092体中)



決戦の地、浜松でPR

15位(1727体中)

11月21日から23日にかけて、静岡県浜松市で開催 されたイベント「ゆるキャラグランプリ 2015 in 出世の 街 浜松」に参加し、そうじゃ消防署カレーの販売や観 光パンフレットを配布して総社市をPR。決戦の最終日、 子どもの声援を受け、ゆるキャラグランプリのフィナー レを迎えました。



決戦投票の会場で総社市を PR するチュッピー

矢掛町で仲良し感謝セレモニーに参加

12月3日、矢掛町でゆるキャラグランプリ 2015 に出場した、「チュッピー」と井原市の「でんちゅ うくん」、矢掛町の「やかっぴー」による「3 キャ ラ集合♪仲良し感謝セレモニー」が行われました。

7月に、総社市で合同出陣式を行った3体が、全 国にご当地をアピールした結果報告を行い、そろっ てダンスを披露しました。



合同報告の後、ダンスをする「でんちゅうくん」、「チュッピー」、 「やかっぴー」(写真左から)